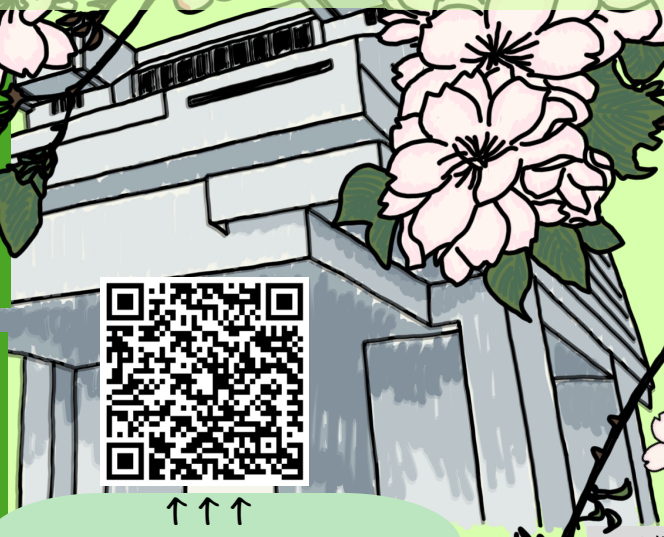
final issue_2026.3

両国まちあるき瓦版 掉尾

～ぐり、ごくり、きらり、びっくり、やはり、りょうごく～

★ついに、えどはくリニューアルオープン！（3/31）

いよいよ3月31日に、江戸東京博物館がリニューアルオープンします！実に４年ぶりとなる再開を記念し、カウントダウンスタンプラリーを皮切りに、当日には、えどはくの施設内外でさまざまな催しが企画されています。まちあるきが愉しいこの季節、オープン直前の“わくわく”で盛り上がる両国の街に、ぜひお越しください！



↑↑↑
各イベントの詳細はこちらから

■両国ほか区内各所■
えどはく オープン カウントダウン スタンプラリー
・景品の引換/-両国-江戸NOREN

■江戸東京博物館　1階エントランス付近■
祝祭パフォーマンス
・和太鼓団体による太鼓パフォーマンス
・墨絵ライブパフォーマンス
・江戸太神楽パフォーマンス
・端唄三味線で短い歌曲を披露

■江戸東京博物館　1階大ホール■
日本舞踊 特別公演
・日本舞踊協会による伝統の演舞
※ 定員制のため整理券が必要

■江戸東京博物館　5・6階 常設展示室内■
館内プログラム
・ぶらぶら町人　・町駕籠体験

■両国駅広小路■
相撲甚句
・江戸時代から続く伝統歌の披露

■-両国-江戸NOREN■
メンコ江戸遊び
・春休みのKids向けメンコ遊び

■-両国-江戸NOREN■
伝統工芸保存会実演
・江戸木目込人形と江戸文字の制作実演

■江戸東京博物館　3階江戸東京ひろば■
映像投影
・3階ひろばの天井面と柱面への映像投影
※ 天候により中止の場合あり

■小梅橋船着場
－両国防災船着場■
向島と両国を結ぶ舟運
・“夢観月”の運行
※ 要予約

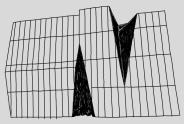
■両国駅広小路■
江戸妖怪百鬼夜行
・伝統と現代が交差する妖怪のパフォーマンスとグリーティング

すみだ五彩の芸術祭プレイベント

■両国リバーセンター前（河川側）■
隅田之川水鏡雙月
・隅田川船上を舞台とした太鼓と踊りのパフォーマンス

■両国駅広小路ほか■
SUMIBON練り歩き
・来場者も参加できる盆踊りパフォーマンス
・音楽家や提灯隊による練り歩き（妖怪も合流）

■すみだ北斎美術館 MARUGENIOO（講座室）■
練り歩き用提灯作成ワークショップ
・練り歩きで使用する提灯の作成　※ 要予約



すみだ北斎美術館は、今年10周年を迎えます。3月17日から5月24日まで、開館10周年記念“ひらけ、絵手本！“北斎漫画”エトセトラ”開催中！

えどはく周辺施設の詳しい場所は、“両国にぎわいMAP2026”を参照ください。
両国観光案内所などでも配布しています。

★続・えどはくリニューアル情報！

先日、江戸東京博物館リニューアルの内容が続報で明らかになりました。“百聞は一見に如かず”ではありますが、そのなかから代表的なものをご紹介します！

○常設展示内の新たな空間演出

アート＆デザインスタジオTangentが、常設展示室内の空間演出を一部監修。また、日本の伝統文化である“のれん”を再解釈し、“現代”と“江戸”の世界を区切るアイコンとして、日本橋の先に設置している。
“のれん”の先では、えどはくが所蔵する甲冑11領※がお披露目となる。さらに、“江戸の美”コーナーでは、歌川広重の“名所江戸百景”ひと揃い※を、一挙に大公開！
江戸時代の“旅のしおり”にインスピレーションを受けた今回限りの特別な“額”も必見である。
（※いずれも期間限定公開）

○設備の経年劣化等への対応

空調機器をはじめとした老朽化した設備機器を全面的に更新。特別展示室や図書館など館の内外装（床・壁・天井等）を更新。東西に張り出す大屋根は、老朽化した部材を撤去し、断熱性・防水性の向上を図る改修を行なった。

○環境負荷に配慮した施設整備

敷地内に太陽光発電設備を設置し、再生エネルギーの活用推進に努めている。併せて、館内の照明もLEDに更新し、人感センサーを導入するなど省エネルギー化。さらに、排熱の有効利用に“熱回収ヒートポンプチラー”を導入することで、館内の空調設備のさらなる省エネを実現。また、ZEV（ゼロエミッションビークル）の普及を後押しするために、電気自動車充電スタンドを来館者用駐車場に10台設置。

○学びやすさ・使いやすさの向上

7階の図書スペースを拡大したほか、開架棚も増設。また、東京空襲や戦争を体験した方々の体験の証言映像も、図書室内映像ライブラリーで常時視聴が可能になった。
館内の案内窓口に、筆談具や文字支援アプリなどのコミュニケーション支援ツールを設置するとともに、1階総合案内に手話ができるスタッフを配置。加えて、常設展示室には、触知案内板や触察模型も設置。

○大型模型をさらに増設

以前に紹介した“服部時計店”のほか、通り抜けが可能な“浅草花屋敷の門”、家具や生活用品など当時の様子をリアルに再現した“同潤会代官山アパートメント”も新たに展示室に再現される。

○利便性・バリアフリー機能の向上

清澄通り側から北エントランスへの雨天時の配慮として、歩廊を増設。また、JR両国駅西口側からメインエントランスまでの動線上には光天井を採用し、安全でわかりやすいアプローチになっている。1階チケットうりば横にバリアフリートイレを2か所新設するとともに、オストメイト設備を本館内すべてのバリアフリートイレに完備。また、館内サインについては、館のロゴタイプが発信するメッセージの一貫性を保つとともに、誰もが読みやすいサインとなるよう“ユニバーサルデザインフォント”を採用。そして、エントランスホールは、既存壁を撤去してスペースを広げることで、明るく開放感のある空間へ改修。チケットうりばの壁面・カウンターには多摩産材を採用し、壁面の一部は伝統的な左官の技術で仕上げられている。

○附帯施設のリニューアル

●<u>和ダイニング こよみ</u>
江戸と言えば“そば、天ぷら、寿司”、そして銀座と言えば日本発祥の“洋食”、東京で広まったなじみの深い料理が和モダンな空間で味わえる。

●<u>ippuku cafe</u>
かわいらしい和甘味や抹茶デザートなど、ちょっと一息つきたいときにぴったりの手軽なカフェ。

●<u>ミュージアムショップ D!G TOKYO</u>
展示会図録や刊行物をはじめ、えどはくのコレクションを使ったオリジナルグッズなどを販売。

○入館料

一般　800円
65歳以上　400円
大学生等　480円
高校生　300円
中学生以下　無料
※各種割引・減免あり

★御礼！

2025年5月から約1年かけてお届けしてまいりました“両国まちあるき瓦版”も、これにてひとまず発行を終了します。今までのご愛読に心から感謝いたします。“Old meets New”これからも、両国をはじめとする“すみだの街”をよろしくお願いします！　（両国まちあるき瓦版 第1部 完）

☆“第20回 両国にぎわい祭り”は、4月25日（土）、26日（日）に開催！

☆江戸東京博物館 1階特別展示室 西側に、“墨田区観光情報コーナー”を開設します！

☆4月からも、国際ファッションセンター1階ショーウインドーで、さまざまな展示を行なっていく予定です。ご期待ください！

いよいよ、2026年3月31日に
えどはく
リニューアルオープン!!

■両国まちあるき瓦版_掉尾（final issue_2026.3）
■発行・問合せ：墨田区産業観光部観光課
KANKOU@city.sumida.lg.jp / 03-5608-6500
■協力：墨田区観光協会/両国協力会/墨田区銘品名店会

☆その他の両国まちあるき情報やバックナンバーなどは、こちらに掲載しています↓

ひと、つながる。墨田区